



難病乗り越え 車いす富士登頂

難病を患いながら車いすでの富士登山に挑戦した京都府宇治市の中岡亜希さん（33）が30日、県庁に大村慎一副知事を訪れ、登頂成功を報告した。

中岡さんは所属するNPO「希少難病患者支援事務局」のスタッフら計25人で28日午前に富士宮口から登りはじめ、29日午前3時半に登頂に成功、同日午後下山した。

中岡さんは、登山中に暴風雨に見舞われたことなどを披露し、「山頂への道のりは想像以上に厳しかったが、幸せな経験が出来まし

た」と笑顔で話した。大村副知事は「勇気づけられる方がたくさんいると思う」とたたえた。また、福岡県へ出張中の川勝知事から「無事でなにより。本当におめでとうございます」と中岡さんへ電話があったという。

中岡さんは25歳の時、手足の先から徐々に筋力が失われる難病「遠位型ミオパチー」と告知され、現在、下半身は動かない状態だという。昨年9月も富士登山に挑戦したが、悪天候などにより6合目で登頂を断念、今回が2回目の挑戦だった。中岡さんは「障害を持つ人でも、富士登山が出来るということ伝えていきたい」と語った。